

平成20年度 北上川上流水防演習のテーマとポイント

水防演習の概要

1. 日 時 平成20年5月31日(土) 8:30~12:00
2. 場 所 岩手県花巻市里川口地先 北上川右岸河川敷(朝日橋下流)
3. 参 加 4,000名規模を想定(水防団約800名、見学者含む)
4. 主 催 北上川上流域16市町村(花巻市、盛岡市、北上市、遠野市、一関市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、藤沢町)、北上川上流洪水予報・水防連絡会、岩手県、国土交通省東北地方整備局

水防演習のテーマ

■カスリン・アイオン台風から60年!■

北上川流域を襲った「カスリン・アイオン台風」から60年の節目を迎えることから、当時の悲惨な記録を思い返しながらい水防演習の原点に立ち返って演習を開催する。

先人達の努力を後世に受け継ぐとともに現代の知恵と技術を兼ねあわせて、より安全で安心な暮らしを実現するため、水防の重要性と災害に備えることの必要性を参加者や住民に伝えていくものとする。

水防演習のポイント

① 時代と地域性を考慮した水防工法の実施

北上川上流域で伝えられている水防工法を取り入れ、上流域ならではの水防演習とするとともに、水防団の指揮と技術の向上を図る。また、「カスリン・アイオン」台風の時代から変わらない地域の人々が、自ら暮らしを守ることの重要性を伝える。

◆幅広く対応する様々な工法を実施◆

- ・先人の衆知を集めた様々な水防工法を実演紹介するとともに水防団の技術向上を図る。(準備工、五徳縫い工、籠止め工など)
- ・改良工法などの新しい工法を取り入れ、これからの時代の水防演習を行う。(改良月輪工、水マット工など)

② 体験型水防演習

- ◆水防団以外の人々に水防演習に参加、体験をしてもらうことにより、自らできる水防活動を理解し、水防技術の知識と減災意識の向上を図る。
 - ・岩手県立花巻農業高等学校 → 演習「積み土のう工」への参加（体験）
 - ・花巻市立花巻小学校、花巻市立矢沢小学校 → 避難訓練への参加
 - ・花巻市内自主防災組織 → 避難訓練への参加、簡易水防工法体験等
- ◆体験型メニューを実施し、子供から大人までの水防意識の向上を促す。
 - ・NPO災害サポーターシステム岩手の指導による水防工法体験コーナー

③ 情報の収集・適切な対応

情報の収集方法や情報を活用した適切な対応を理解することにより、自助・共助意識の向上を図り、減災へと結びつける。

- ・インターネットサービスや「危険水位量水標」の活用による河川水位情報の取得
- ・避難情報に対する町内会の対応（情報の周知、避難方法、弱者対応）
（花巻ボランティア連絡協議会、花巻防災士会など：避難支援）
- ・災害協定企業等による援助物資（NPO北上川流域連携交流会、NPOコメリ災害対策センター）

④ 河川管理施設（排水機場、排水樋管）の活用

- ・演習会場近くの「高田排水樋管」の操作を水閘門操作員により実演する。
- ・北上川上流管内の管理施設（排水機場等）についてVTRで説明する。

⑤ 北上川上下流での水防演習同時開催

- ・下流部の「宮城県登米市」で実施される水防訓練と結び、情報の共有を図る。
（花巻市長、登米市長によるメッセージ交換）

⑥ 第3回東北水防技術競技大会の開催

- ・東北6県代表水防団により「シート張工」「月輪工」を競技形式により実施。

【	青森県代表	五所川原市水防団
	岩手県代表	花巻市水防団
	宮城県代表	石巻市河北水防団
	秋田県代表	北秋田市水防団
	山形県代表	米沢市水防団
	福島県代表	福島市水防団